

第 5 学年 体育科 保健 学習 指導案

5 年 2 組 指導者 阿 武 典 子

単 元 けがを防止し、元気に過ごそう

1 本単元で求める「学びを実感する子どもの姿」

- ◇ けがの防止や手当に関する知識と自分の行動の相違から問いをもち、安全な行動や手当の方法を見付けようとしている
- ◇ 資料や既習知識と経験をつなげて、けがの防止や手当を理解している
- ◇ けがの防止や手当について仲間と交流して見出した安全な行動や手当の方法を自分の生活に取り入れようとしている
- ◇ 危険を予測して安全に行動しようとしたり、簡単なけがの手当をしったりしている

2 単元について

本学級の子どもは、事故や犯罪被害、学校生活でのけがの防止については、全校集会や学級で指導を受け、知識として知っている。一方で、保健室には、遊びの楽しさが優先となってけがをしてしまったり、傷は消毒液や絆創膏ですぐに治ると思っていたりする子ども等が来室している。このようにけがの防止や手当に関する知識と行動がずれている子どもが見られる。

本単元は、子どもが、けがの防止や手当に関する知識や経験から交通事故や身の回りの生活の危険を予測し、回避するための安全な行動を見付けたり、実習を通してけがの手当の原理・原則を理解したりする学習である。子どもが安全な行動やけがの手当の方法を仲間と交流して、選択肢を増やして共有化したり、学習したことを思い出しやすくしたりすることで、学習したことを生活の中で活用できるようになるのではないかと考えている。そして、無意識に行動している子どもが、安全な行動を意識して継続的に実践することにより、けがを防止したり、簡単な手当ができるようになったりするるのである。

そこで、以下の支援を具体化し、本単元で求める子どもの姿の実現を図りたい。

- けがの防止に関する実態調査をもとに、経験者に意図的指名を行ったり、意識の変容を価値付けたりすることで、けがの防止を自分のこととして考えることができるようにする。
- 安全な行動を見出す際には、少人数で話し合う場を設定することで、一人ひとりが漠然と捉えていた安全な行動を明確にし、自分なりの安全な行動を見出しやすくする。
- けがを防止する安全な行動を短い文やキーワードで表すように促すことで、学習したことを思い出して、生活の中で活用しやすくする。

3 目 標

- 経験や資料等をもとにけがの防止について理解するとともに、けが等の簡単な手当ができるようにする。
- 仲間と共にけがを防止する安全な行動やけがの手当の方法を見付け、生活の中で活用しようとする意欲を高めることができるようにする。

4 評価規準

関心・意欲・態度(関)	思考・判断(思)	知識・理解(知)
○けがの防止や手当について、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。 ○けがの防止や手当について、課題の解決に向けた話し合いに取り組もうとしている。	○けがの防止や手当について、教科書や資料、自他の経験をもとに、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりしている。 ○けがの防止や手当について、学習したことを自分の生活と比べたり、関連付けたりして説明している。	○交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止について理解している。 ○けがの手当等について理解している。

5 指導計画 12M(4時間) が本時

学習活動	子どもの意識
第1次 けがの発生要因や防止方法を考える 9M(3時間)	
学習内容 ・自分の生活との関連(関) ・けがの防止と安全な行動の比較(思) ・けがの防止の理解(知)	
<input type="checkbox"/> 事故や犯罪被害の防止方法を話し合う (3M) <input type="checkbox"/> 学校生活のけがの防止方法を話し合う① (3M) <input type="checkbox"/> 学校生活のけがの防止方法を話し合う② (3M)	<p>・事故や犯罪被害の防止方法について考えるのだね。交通事故や水の事故、犯罪被害があるよ。山口市の交通事故は去年5643件発生しているね。だけどぼくは事故に遭っていないよ。道路を渡るときは左右を確認しているから交通事故には遭わないと思うよ。私は、ヒヤッとしたことがあるよ。通学路には、進入禁止道路や歩車分離信号機もあるね。事故防止は、自分が気を付けることと環境を整えることが大切なのだね。大けがをしている人を見たら、人に知らせることも大切だよ。学校外のけが人は少ないけれど、保健室のけがの発生マップにはシールがたくさん貼ってあるね。学校でもけがをしないようにしたいな。</p> <p>・運動場でサッカーをしている人の横を通り抜けようとしたらボールが当たって、すぐに保健室に行き、氷で冷やしたよ。時間に遅れそうだからと走っていたら、階段で転んだことがあるよ。あわてていたからだと思うよ。同じことを繰り返さないために、廊下や階段を通るときは「足元を見る」をキーワードにしたいな。けがの発生マップの遊具のところにたくさんシールが貼られているね。どうしてだろう。</p> <p>・雨上がりに雲梯で遊んだとき、地面に落ちて腕が痛くて動けなかったよ。どうしたらけがを防ぐことができるのかな。雲梯で遊ぶときは、バーが滑りやすいかどうか確認するために、「確認する」をキーワードにするよ。けがを防ぐためには、状況をよく見て、予測して、安全かどうか確かめてから行動することが大切なのだね。</p>
第2次 けがの簡単な手当ができるようにする 3M(1時間)	
学習内容 ・けがの手当の実践(関) ・救急処置の基本と応用(思) ・けがの手当の理解(知)	
<input type="checkbox"/> けがの手当の実習をする (3M)	<p>・けがの防止方法は分かったので、けがをしたときのことも学んでおくのだね。手当の基本は「傷口を清潔にする」と「R I C E」だよ。火傷をしたときはすぐに冷やすと水泡ができにくいのだね。運動場で転んだときは、すぐに傷を水洗いするよ。鼻血が出たときは、鼻を指で押さえるよ。これから、保健室に行く前に自分で簡単な手当はできそうだね。</p>

6 本時案 【平成24年11月30日 8:50~9:35 5年2組教室】

(1) ねらい 遊具使用時のけがの防止について話し合うことを通して、周囲の状況把握や危険の予測、安全な行動をすることが必要であることを理解し、安全な行動をしようとする意欲を高めることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 学校で起こったけがを想起する (5分)</p> <p>学習内容 ・けがの発生と自分の行動との関連(関)</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの発生マップを見ると遊具でけがをした人が多いのだね。 A ぼくは雲梯で遊んでいて、落ちたことがあるよ。そのとき、腕が痛くて動けなかったよ。 私は雲梯で遊んだときに落ちて膝をすりむき保健室に行ったよ。 雲梯で遊ぶときに起こるけがは、バーの上下にいる人の両方で起こっているのだね。 	<p>○アンケート等から遊具でけがをした経験のある子どもを意図的指名し、そのときの様子を語らせることで、他の子どもが自分の経験を想起し、自分のこととして考えることができるようにする。</p>
<p>② 話し合いを通して、けがを防止する安全な行動を見出す(25分)</p> <p>学習内容 ・けがの防止と安全な行動との関連(思) ・けがの防止の理解(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> 雲梯で起こるけがの種類や原因はどのようなものがあるのかな。 A ぼくが雲梯で遊んだときは、雲梯が濡れていたよ。大丈夫だと思っていたら手が滑って落ちたよ。けがの種類は「打撲」、原因は「雲梯をしているときに思わず手が滑って落ちた」だよ。 雲梯のバーにぶら下がっている人は、手が滑って落ちて、膝を擦ったり、足首をひねったりすることがありそうだね。 原因は手が滑ったり、予想よりも手が届かなかったりすることだと思うよ。 どうしたら防ぐことができるのかを、隣の人と話し合うのだね。 手が滑って落ちるときが多いので、強くバーを持つといいよ。 手が滑りそうなときは、早めに手を放すとうまく着地できるよ。 A ぼくは、雲梯が濡れているときは、滑るかどうかを確実に確認してからバーをつかむと、落ちなかったと思うよ。 落ちるかもしれないと心構えをしておくといいね。 けがを防ぐためには、状況をよく確かめ、危険に気付いて、安全に行動することが必要なのだね。 他の遊具でもけがの防止を予測することができそうだよ。 	<p>○雲梯を例にして、けがの種類や原因を考えさせることで、多様な視点からけがの防止方法を複数見出すことができるようにする。</p> <p>○けがが起こったときのけがの種類と状況や環境、行動を整理して板書することで、けがの防止と安全な行動が関連付けられるようにする。</p> <p>○けがの防止を考える際に少人数で交流することで、一人ひとりが安全な行動を見付けやすくする。</p>
<p>③ けがを防止するためのキーワードを見付ける (15分)</p> <p>学習内容 ・けがの防止の理解(思) ・次時の見通し(関)</p> <p>遊具で遊ぶ時にけがをしないために必要だと思うことや気を付けたことを短い文やキーワードで表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、ジャングルジムで遊ぶとき、脛の打撲を防ぎたいので、キーワードは「足元」にするよ。 A ぼくのキーワードは、雲梯をする前に滑るかどうかを「確認する」にするよ。次に遊ぶときに使うようにするよ。 	<p>○自分なりのけがの防止方法を短い文やキーワードで表すように促すことで、日常生活の中で活用しやすくする。</p>